



2020年8月7日

各 位

会 社 名 株式会社ナガオカ  
代表者名 代表取締役社長 梅津 泰久  
(コード:6239、東証 J A S D A Q)  
問合せ先 取締役管理本部長 楯本 智也  
(TEL. 06-6261-6600)

### 剰余金の初配当（期末配当）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり2020年6月30日を基準日とする剰余金の配当（初配）を行う旨の議案を2020年9月29日開催予定の第16期定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、定時株主総会にてご承認をいただいた場合、2015年6月29日の上場以来初の配当となります。

#### 記

##### 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2019年8月9日)	前期実績 (2019年6月期)
基準日	2020年6月30日	同左	2019年6月30日
1株当たり配当金	10円00銭	0円00銭	0円00銭
配当金総額	69百万円	—	—
効力発生日	2020年9月30日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

##### 2. 理由

当社は、2015年の上場以来、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識して参りましたが、2016年6月期と2017年6月期の2期に亘り、連続して多額の純損失を計上したことから、前期（2019年6月期）まで、株主の皆様には利益配当ができませんでした。

このような状況の中、製造面では、2017年10月に当時旗艦工場であった貝塚工場を閉鎖し、姫路工場に集約するとともに、海外においては、2018年8月に那賀日造設備（大連）有限公司（現 那賀設備（大連）有限公司）の持分を取得し完全子会社化するとともに、2019年1月には第2工場建屋を増設するなど、生産体制を再構築し、製造コストの削減に積極的に取り組みました。また、営業面では、品質、価格、納期等において競合他社との優位性を確保しつつ、利益率の高い案件を集中的に受注するように努めました。その結果、上場以来初めて配当可能利益を確保することができました。そこで、当期の業績及び今後の収益見通しや当社の財政内容等を総合的に勘案した上で、株主の皆様に対する利益還元として、連結配当性向10%を目途に1株当たり10円（連結配当性向9.9%）の期末配当を実施することといたしました。

今後も引き続き、経営基盤の強化を図り、企業価値を高め、株主の皆様に対して、継続的かつ安定的に、連結配当性向10%を目途に利益還元を実現してまいります。

以上